

第61回経営動向調査・八代商工会議所

平成29年12月期結果報告書

全業種 業況DI ▲4.5対前期比0.3ポイント減少し横ばい

～卸売業、建設業（設備）が改善、製造業、小売業、飲食業が悪化～

調査結果のポイント

全業種の業況DIは対前期比マイナス4.5で前回調査よりマイナス0.3ポイントのほぼ横ばいとなった。対前年同期比はマイナス6.7で前回調査よりマイナス2.5ポイントの悪化となっている。

熊本震災から1年半以上が経過し、復興関連事業も一部が完了する中プラスの影響を受けて活気づく企業と、落ち込んだまま停滞する企業に分かれており今後プラスからマイナスに転じる心配も懸念される。

また、全業種の来期の業況見通しDIはマイナス7.9で前回調査よりマイナス12.1ポイントの悪化となった。建設業関連では年度末による公共工事の増加を期待する意見があり、他業種では原材料や人件費の値上がり、といったマイナス要素を不安視する意見があった。

当期調査状況

調査対象期間 平成29年10月～12月（3ヶ月間）

調査期間 平成30年1月10日（水）～平成30年1月17日（水）

調査対象業種 製造・建設（土木）・建設（設備）・卸売・小売・飲食・サービス

調査対象数 八代市内中小企業 142事業所

回答数 90事業所（回答率63.4%）

※ DI値（業況判断指数）について

DI値は、売上高、受注・販売単価、業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示しマイナスの値で景気の下向きを表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気や弱気など「景気の実感」をそのまま表すものである。**

《産業別回収状況》

業種	調査対象数	回答数	回答率
製造業	22	14	63.6%
建設業(土木)	16	10	62.5%
建設業(設備)	19	12	63.2%
卸売業	20	13	65.0%
小売業	20	13	65.0%
飲食業	17	11	64.7%
サービス業	28	17	60.7%
合計	142	90	63.4%

DI=（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

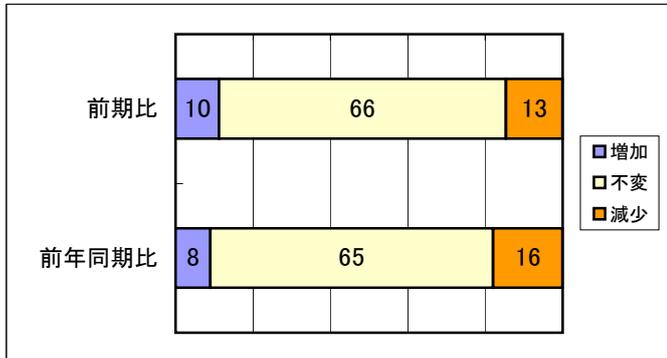
産業別概況

《全業種》

平成29年12月期調査結果

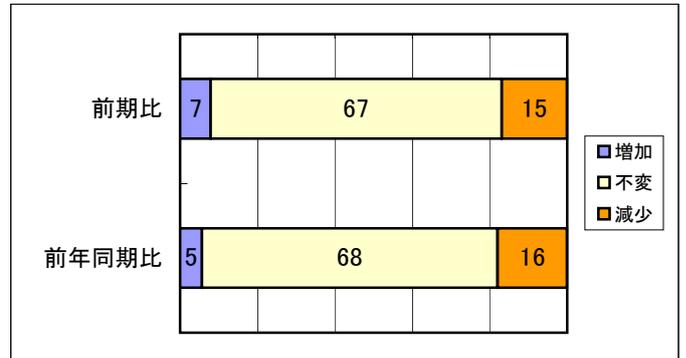
業況(DI▲4.5)は、前回調査と比べほぼ横ばいである。売上高(DI▲3.4)、受注・販売単価(DI 2.2)がほぼ横ばいで、営業利益(DI▲9.0)はやや悪化している。仕入単価(DI 13.5)は横ばいである。

①売上高



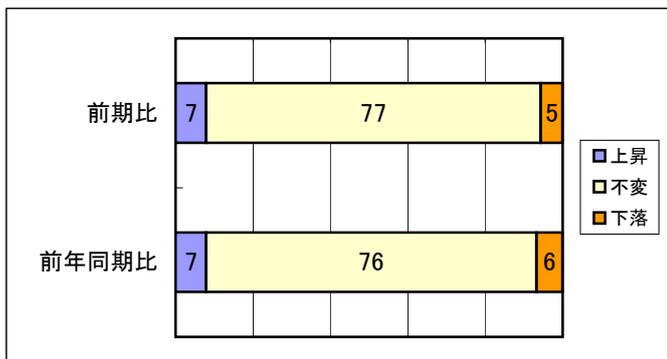
	増加	不変	減少	DI
前期比	10	66	13	-3.4
前年同期比	8	65	16	-9.0

④営業利益



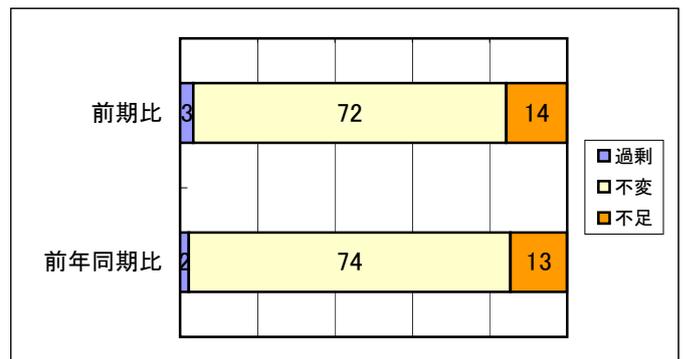
	増加	不変	減少	DI
前期比	7	67	15	-9.0
前年同期比	5	68	16	-12.4

②受注・販売単価



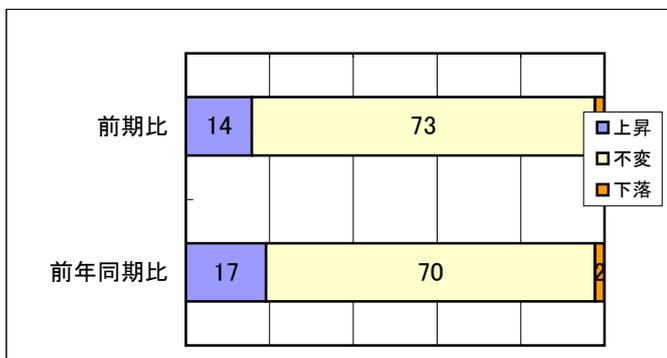
	上昇	不変	下落	DI
前期比	7	77	5	2.2
前年同期比	7	76	6	1.1

⑤従業員



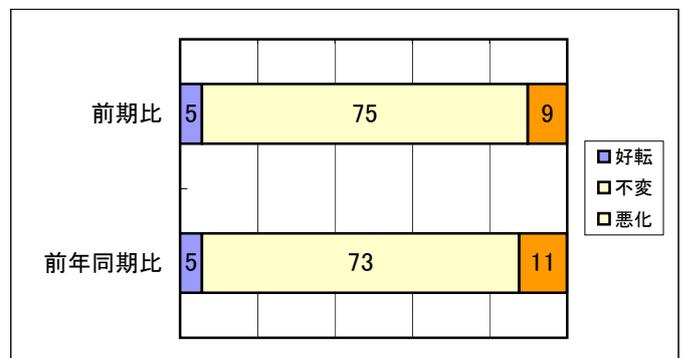
	過剰	不変	不足	DI
前期比	3	72	14	-12.4
前年同期比	2	74	13	-12.4

③仕入単価



	上昇	不変	下落	DI
前期比	14	73	2	13.5
前年同期比	17	70	2	16.9

⑥業況

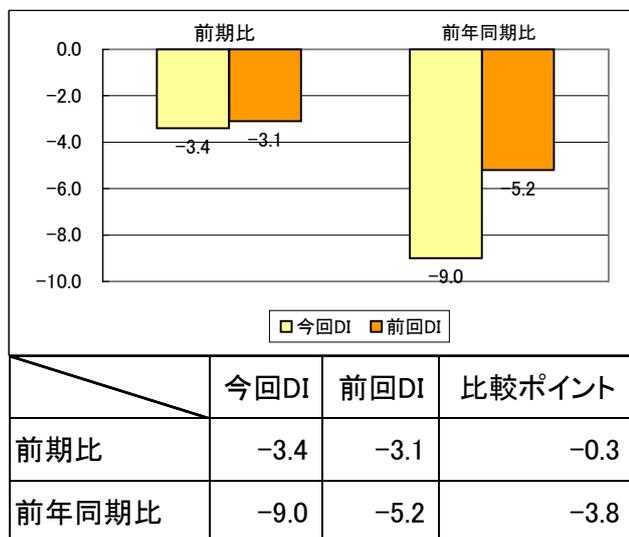


	好転	不変	悪化	DI
前期比	5	75	9	-4.5
前年同期比	5	73	11	-6.7

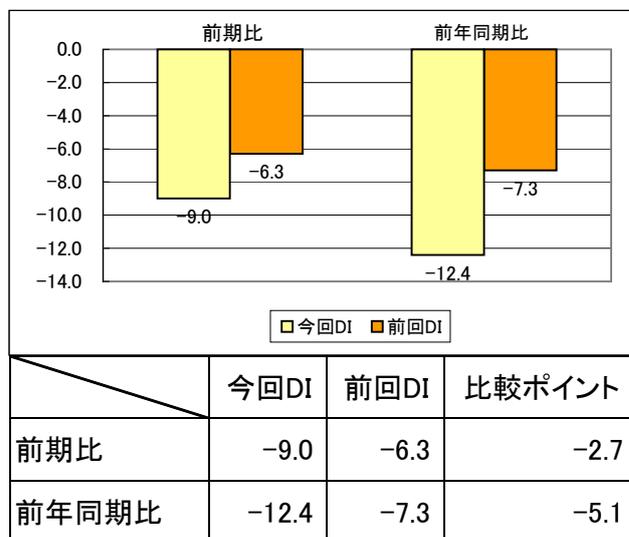
対前回(H29.12)調査DI比較

《全業種》

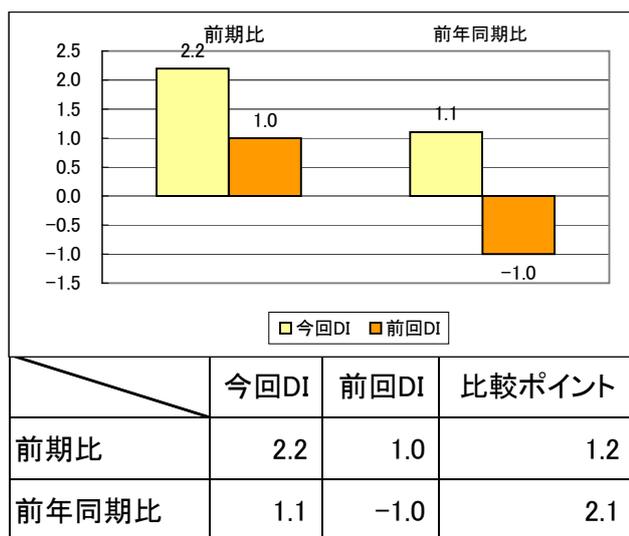
①売上高



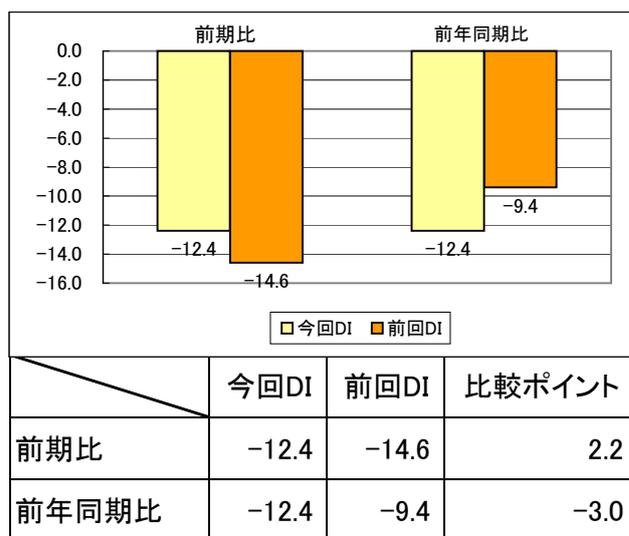
④営業利益



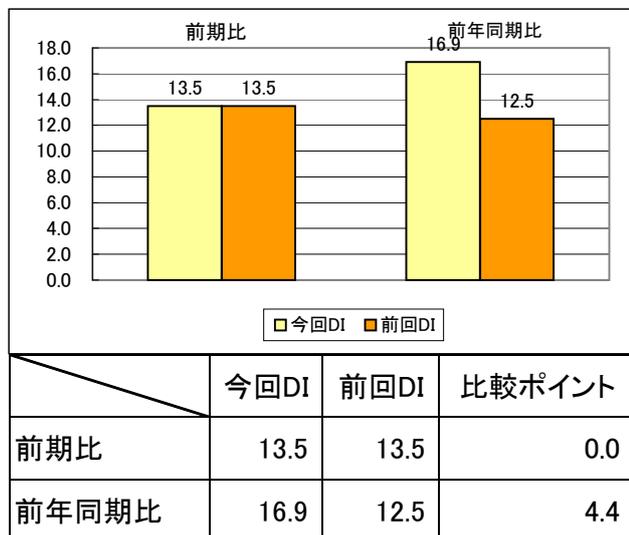
②受注・販売単価



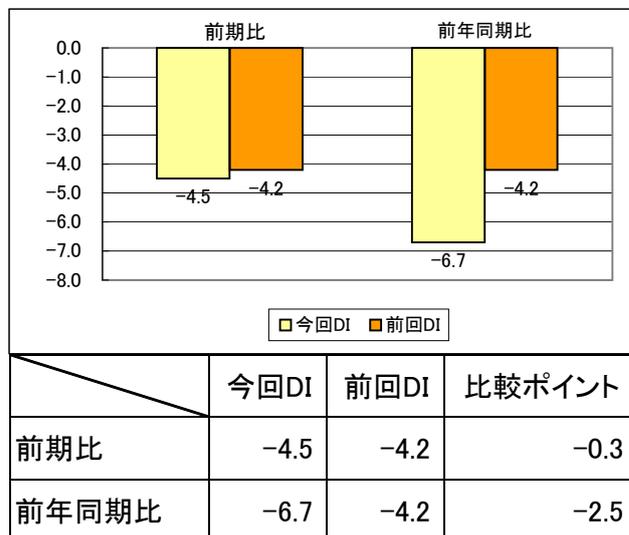
⑤従業員

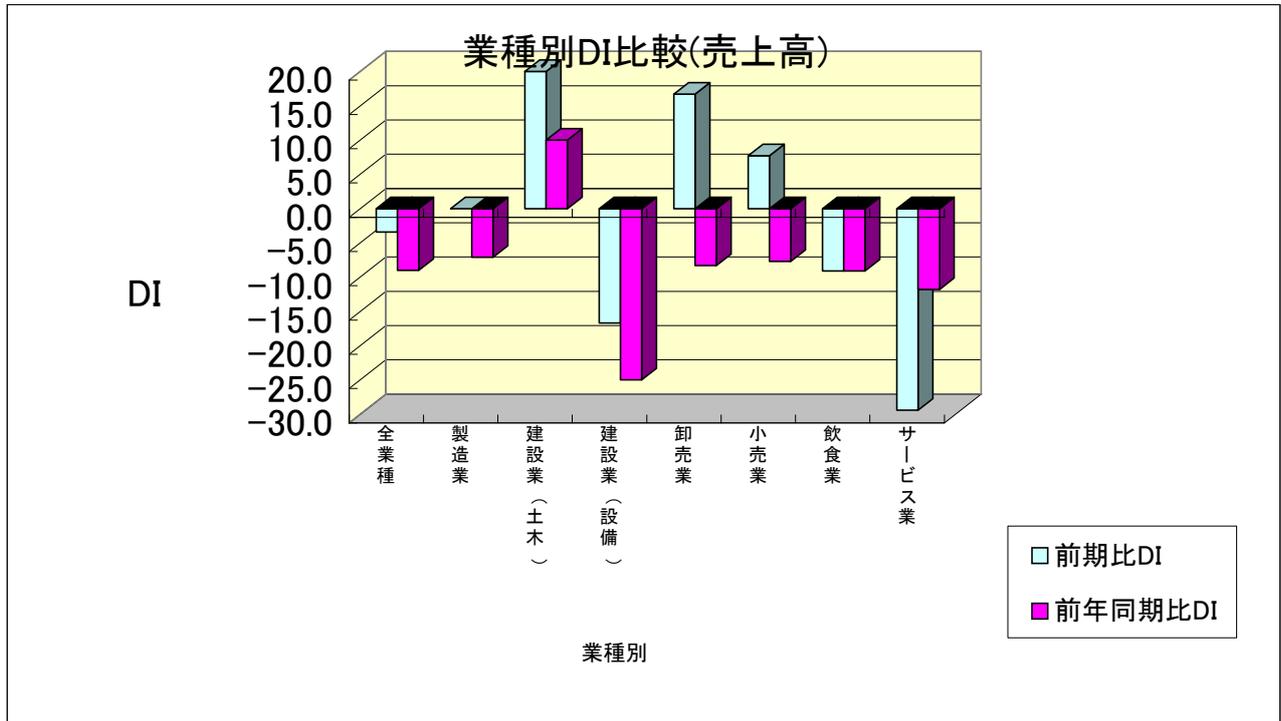


③仕入単価

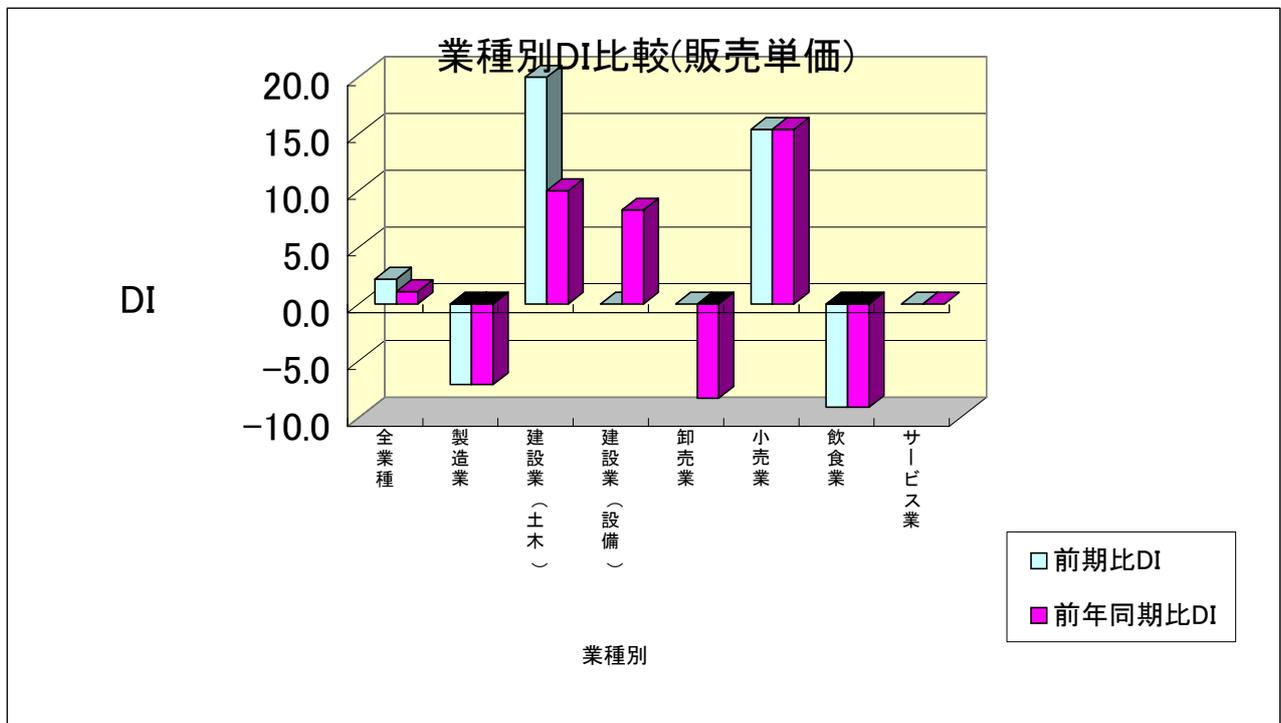


⑥業況

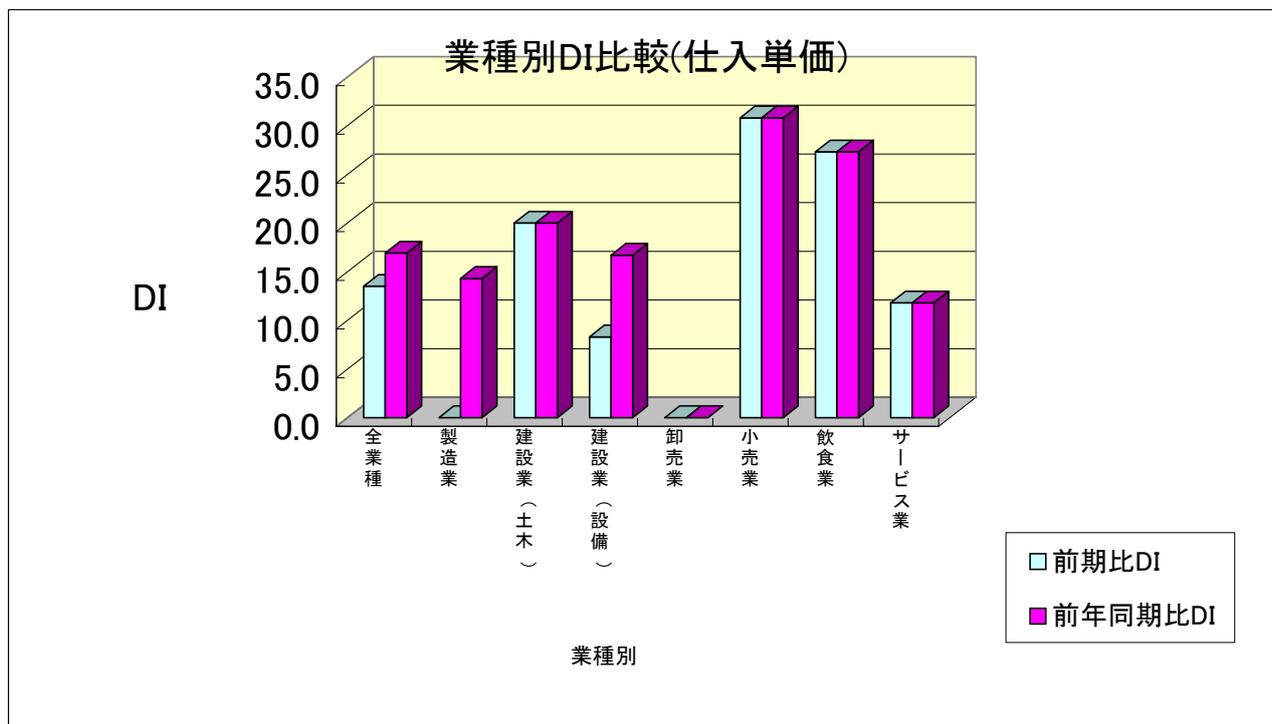




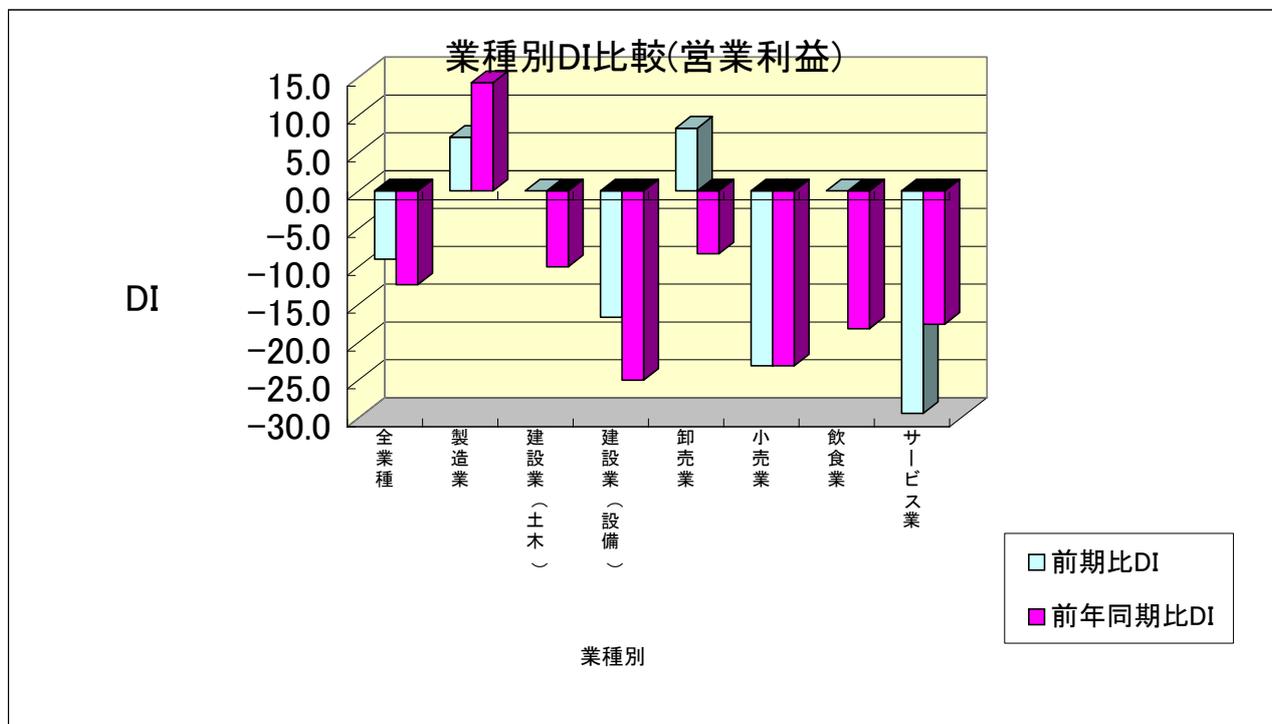
	全業種	製造業	建設業(土木)	建設業(設備)	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
前期比DI	-3.4	0.0	20.0	-16.7	16.7	7.7	-9.1	-29.4
前年同期比DI	-9.0	-7.1	10.0	-25.0	-8.3	-7.7	-9.1	-11.8



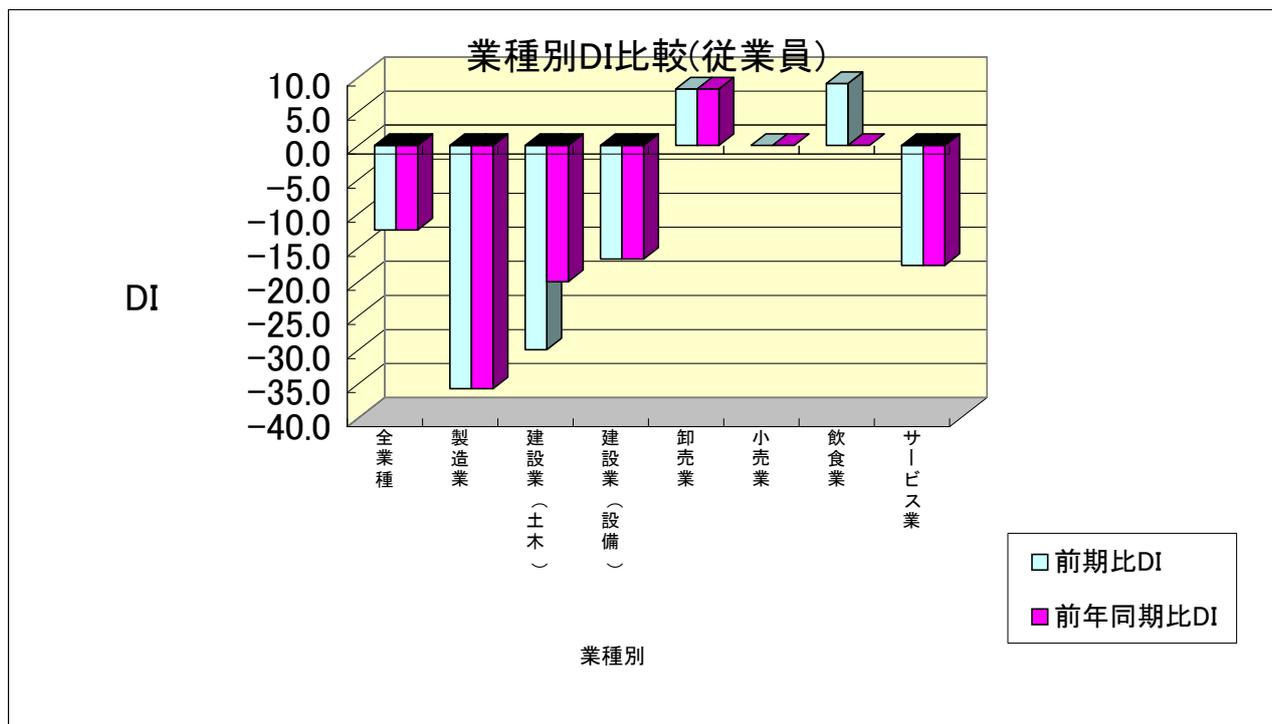
	全業種	製造業	建設業(土木)	建設業(設備)	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
前期比DI	2.2	-7.1	20.0	0.0	0.0	15.4	-9.1	0.0
前年同期比DI	1.1	-7.1	10.0	8.3	-8.3	15.4	-9.1	0.0



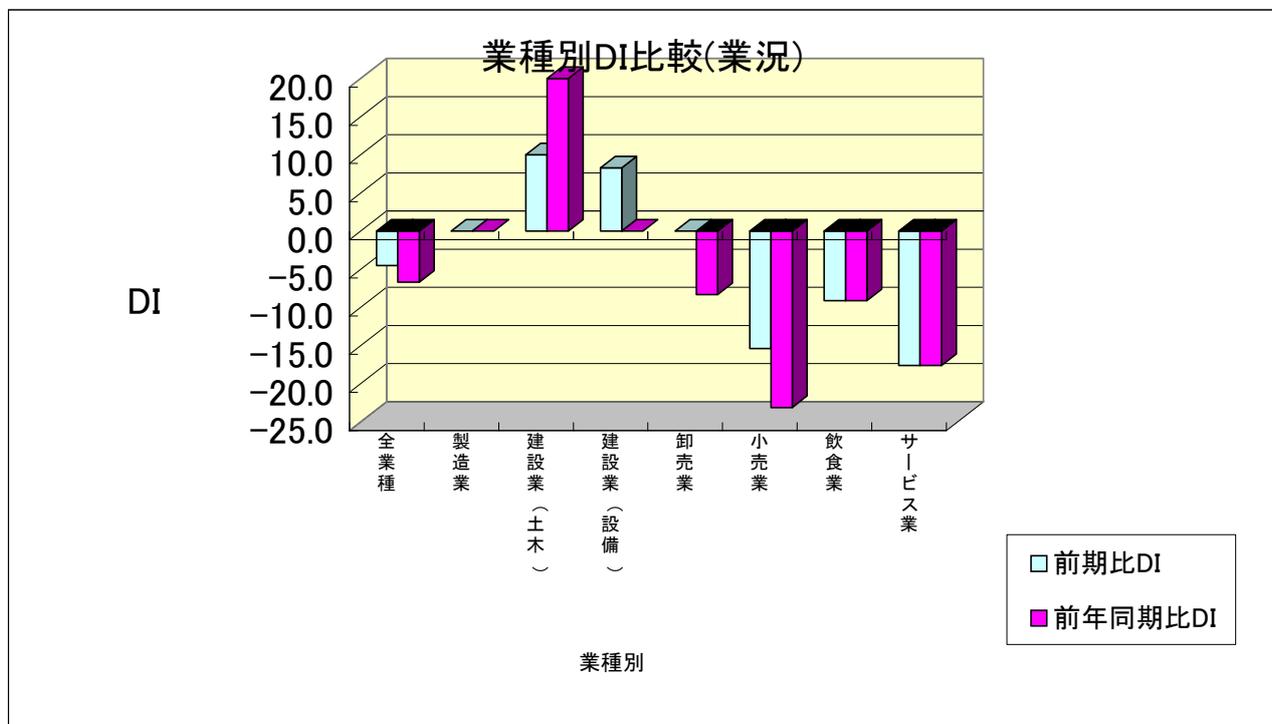
	全業種	製造業	建設業(土木)	建設業(設備)	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
前期比DI	13.5	0.0	20.0	8.3	0.0	30.8	27.3	11.8
前年同期比DI	16.9	14.3	20.0	16.7	0.0	30.8	27.3	11.8



	全業種	製造業	建設業(土木)	建設業(設備)	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
前期比DI	-9.0	7.1	0.0	-16.7	8.3	-23.1	0.0	-29.4
前年同期比DI	-12.4	14.3	-10.0	-25.0	-8.3	-23.1	-18.2	-17.6



	全業種	製造業	建設業(土木)	建設業(設備)	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
前期比DI	-12.4	-35.7	-30.0	-16.7	8.3	0.0	9.1	-17.6
前年同期比DI	-12.4	-35.7	-20.0	-16.7	8.3	0.0	0.0	-17.6



	全業種	製造業	建設業(土木)	建設業(設備)	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
前期比DI	-4.5	0.0	10.0	8.3	0.0	-15.4	-9.1	-17.6
前年同期比DI	-6.7	0.0	20.0	0.0	-8.3	-23.1	-9.1	-17.6

産業別業況一覽

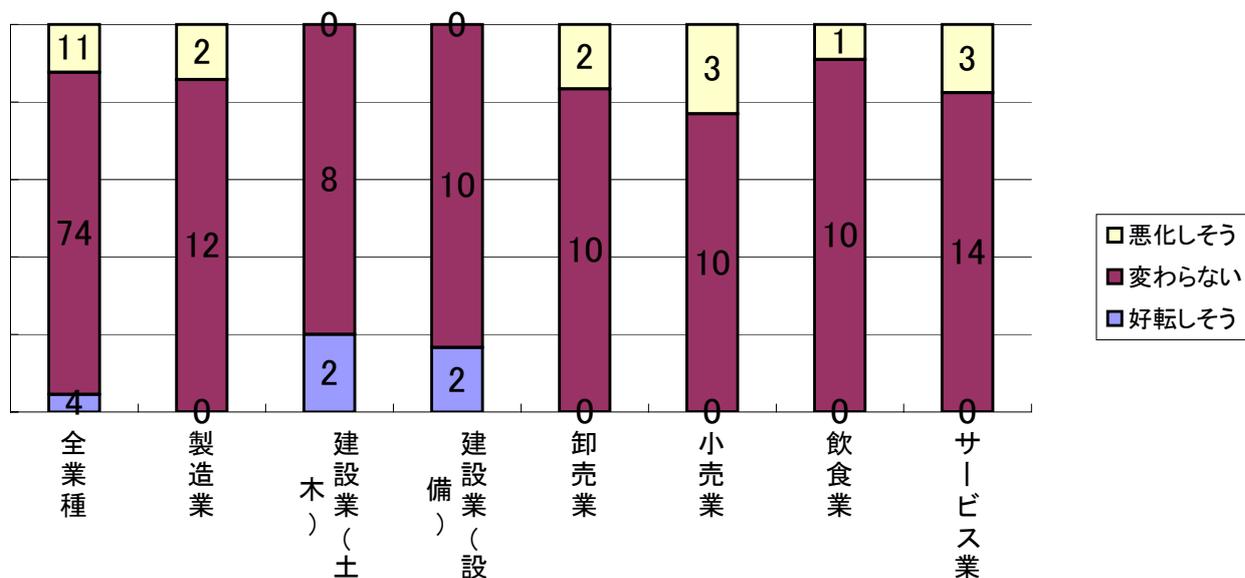
上段＝対前期比 下段＝対前年同期比

業種	今回分 (H29.12月期)	前回分 (H29.9月期) (H28.12月期)	比較ポイント
全体	-4.5	-4.2	-0.3
	-6.7	-4.2	-2.5
製造業	0.0	13.3	-13.3
	0.0	14.3	-14.3
建設(土木)	10.0	9.1	0.9
	20.0	18.2	1.8
建設(設備)	8.3	0.0	8.3
	0.0	0.0	0.0
卸売業	0.0	-23.1	23.1
	-8.3	-7.7	-0.6
小売業	-15.4	-6.3	-9.1
	-23.1	-17.6	-5.5
飲食業	-9.1	0.0	-9.1
	-9.1	0.0	-9.1
サービス業	-17.6	-17.6	0.0
	-17.6	-22.2	4.6

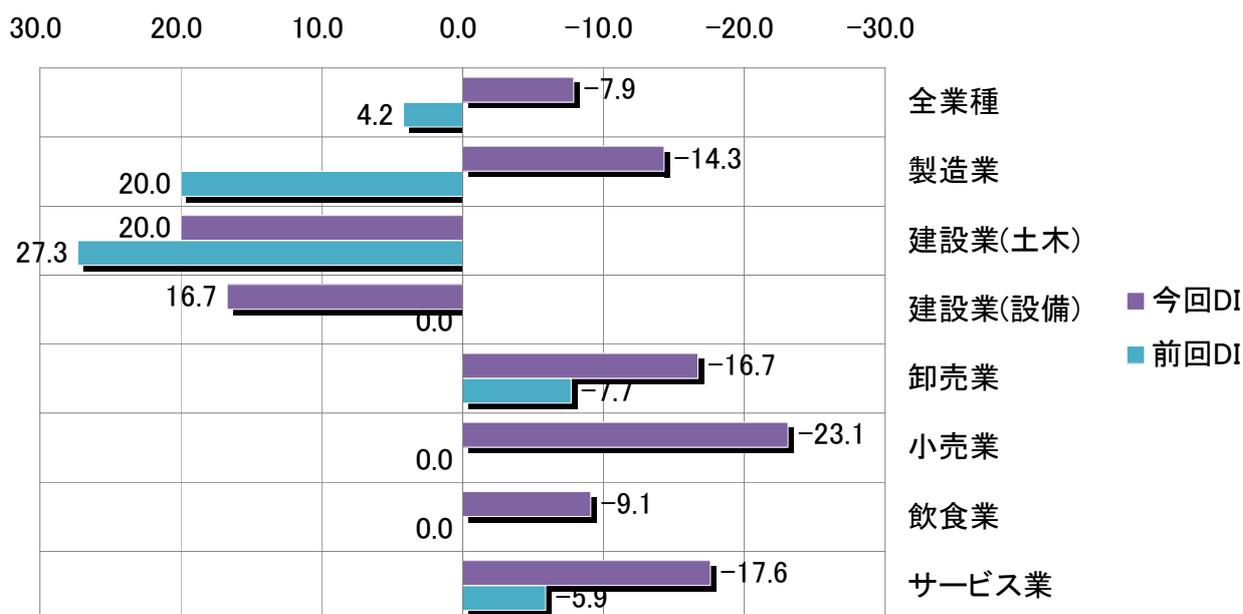
* 来期の業況見通しについて

平成29年12月期調査結果

	好転しそう	変わらない	悪化しそう	今回DI	前回DI	DI差
全業種	4	74	11	-7.9	4.2	-12.1
製造業	0	12	2	-14.3	20.0	-34.3
建設業(土木)	2	8	0	20.0	27.3	-7.3
建設業(設備)	2	10	0	16.7	0.0	16.7
卸売業	0	10	2	-16.7	-7.7	-9.0
小売業	0	10	3	-23.1	0.0	-23.1
飲食業	0	10	1	-9.1	0.0	-9.1
サービス業	0	14	3	-17.6	-5.9	-11.7



来期の見通しDI比較



来期の見通し要因コメント(業種別)

1. 製造業
○悪化しそう
資材値上がり、人件費上昇、価格の下落が続いている。
2. 建設業(土木)
○好転しそう
年度末に工事量増加。 公共工事の増大
3. 建設業(設備)
○好転しそう
受注工事増のため 熊本地震による工事発注による。
5. 小売業
○悪化しそう
事業簡素化、人口減少のため、心配しています。 仕入れ高騰 元売り統合とエネルギー改革
6. 飲食業
○悪化しそう
不況だから。政府機関の税制の問題有。
7. サービス業
○悪化しそう
アベノミクスが浸透していない。

モニターコメント一覧

1. 製造業

衆議院選挙の真只中ですが、北朝鮮の動向が気になります「平和」にと願っています

3. 建設業(設備)

月ごとに多少上下がありますが、例年通りです。

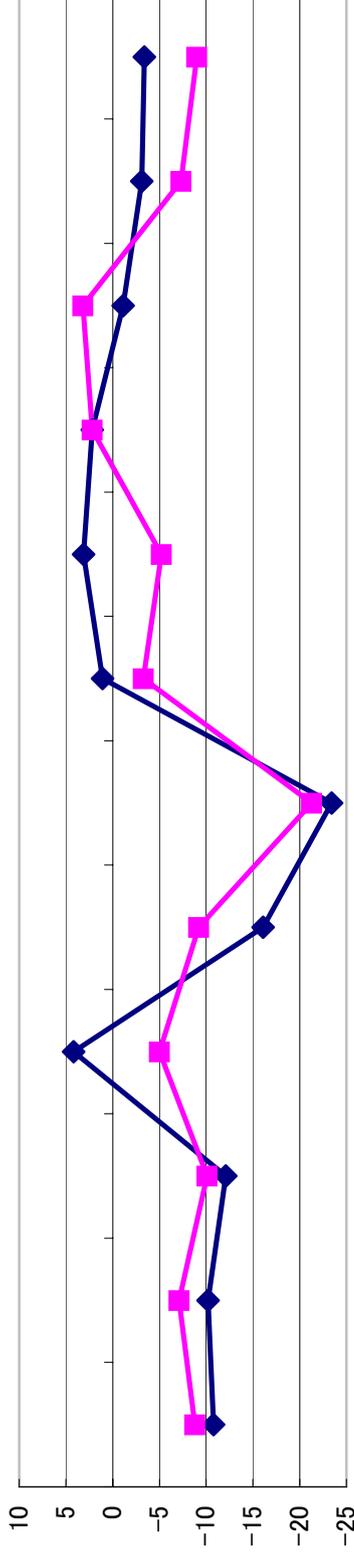
5. 小売業

「地震から1年」という節目で一気に消費が落ち込んだ実感。当社を含めて地域そのものが大きなマイナスのスパイラルにいる。自営業者の衰退は、交際費的消費(=贈答品etc)の低迷という形で、イヨイヨ現実化していると思います。

九州北部豪雨の影響により、花き産地である朝倉市が被災され、お盆の時季にかけ出荷の減少等が懸念されていましたが、予想されていた程度の影響はなく、例年通りの数量が確保されたことにより、需給バランスの観点からも一定の利益につながりました。

DI推移表 全業種

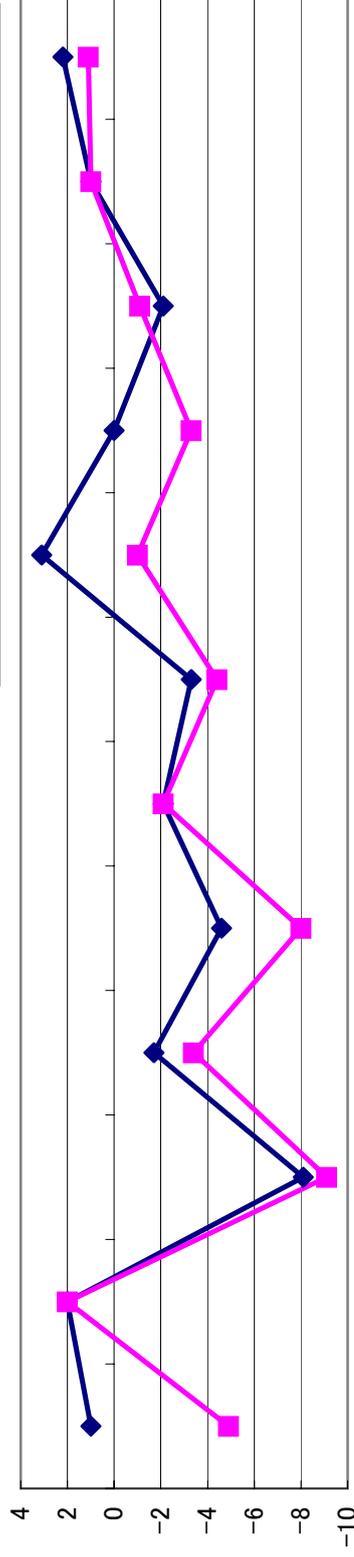
◆売上高(前期比) ■売上高(前年比)



項目	H27/1-3月	H27/4-6月	H27/7-9月	H27/10-12月	H28/1-3月	H28/4-6月	H28/7-9月	H28/10-12月	H29/1-3月	H29/4-6月	H29/7-9月	H29/10-12月
売上高(前期比)	-10.8	-10.2	-12.1	4.2	-16.1	-23.4	1.1	3.1	2.2	-1.1	-3.1	-3.4
売上高(前年比)	-8.8	-7.1	-10.1	-5	-9.2	-21.3	-3.3	-5.2	2.2	3.2	-7.3	-9

DI比較表 全業種

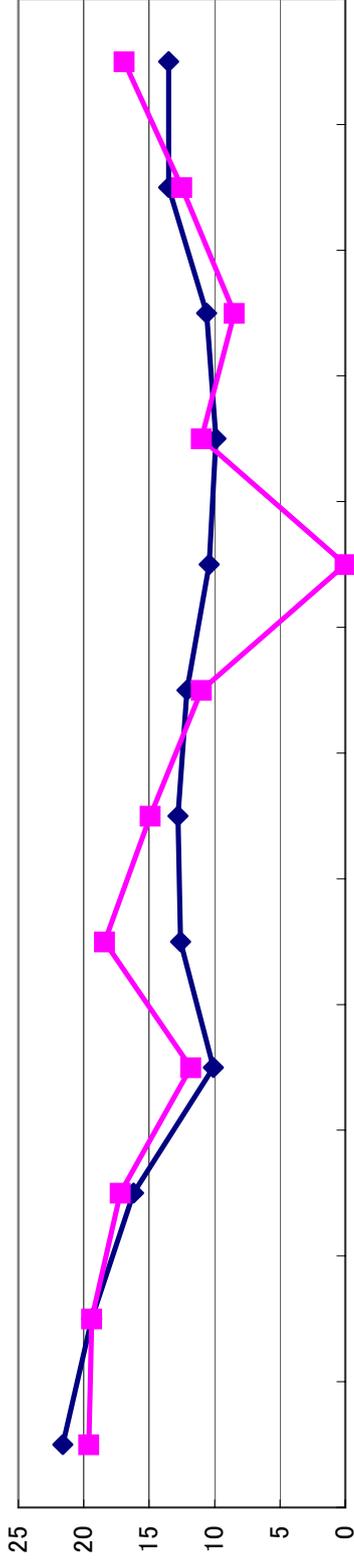
◆受注(販売)単価(前期比) ■受注(販売)単価(前年比)



項目	H27/1-3月	H27/4-6月	H27/7-9月	H27/10-12月	H28/1-3月	H28/4-6月	H28/7-9月	H28/10-12月	H29/1-3月	H29/4-6月	H29/7-9月	H29/10-12月
受注(販売)単価(前期比)	1	2	-8.1	-1.7	-4.6	-2.1	-3.3	3.1	0	-2.1	1	2.2
受注(販売)単価(前年比)	-4.9	2	-9.1	-3.4	-8	-2.1	-4.4	-1	-3.3	-1.1	1	1.1

DI比較表 全業種

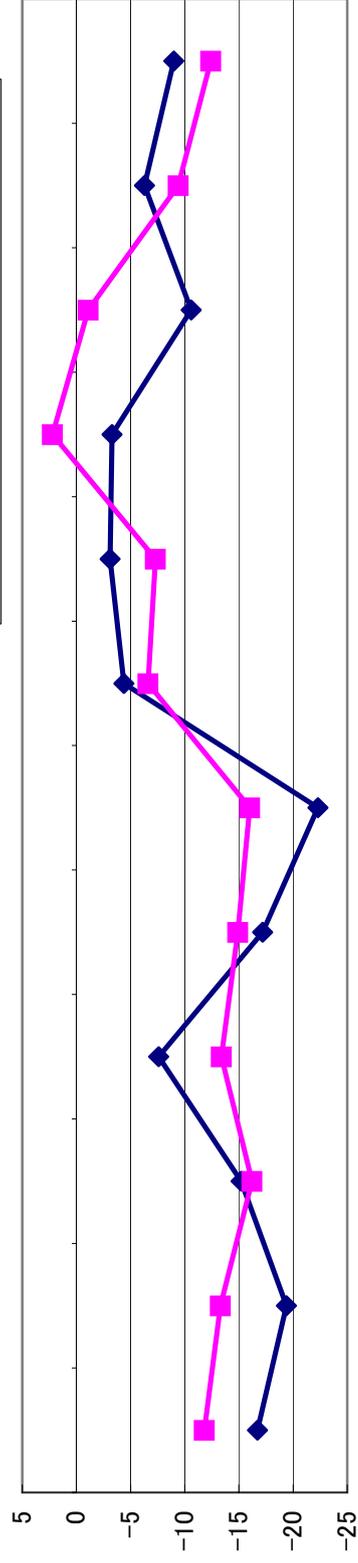
◆ 仕入単価(前期比) ■ 仕入単価(前年比)



項目	H27/1-3月	H27/4-6月	H27/7-9月	H27/10-12月	H28/1-3月	H28/4-6月	H28/7-9月	H28/10-12月	H29/1-3月	H29/4-6月	H29/7-9月	H29/10-12月
仕入単価(前期比)	21.6	19.4	16.2	10.1	12.6	12.8	12.1	10.4	9.9	10.6	13.5	13.5
仕入単価(前年比)	19.6	19.4	17.2	11.8	18.4	14.9	11	.5	11	8.5	12.5	16.9

DI比較表 全業種

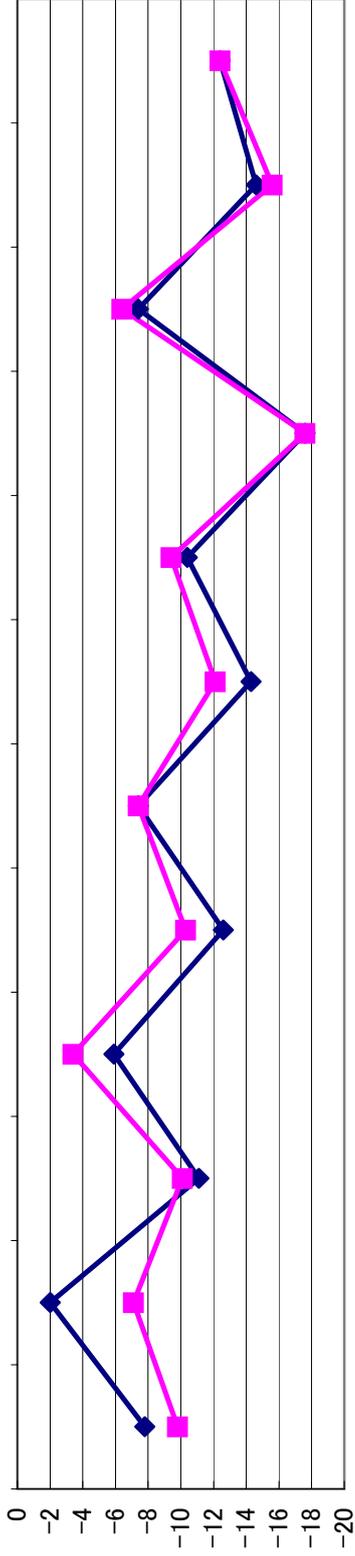
◆ 営業利益(前期比) ■ 営業利益(前年比)



項目	H27/1-3月	H27/4-6月	H27/7-9月	H27/10-12月	H28/1-3月	H28/4-6月	H28/7-9月	H28/10-12月	H29/1-3月	H29/4-6月	H29/7-9月	H29/10-12月
営業利益(前期比)	-16.7	-19.4	-15.2	-7.6	-17.2	-22.3	-4.4	-3.1	-3.3	-10.6	-6.3	-9
営業利益(前年比)	-11.8	-13.3	-16.2	-13.4	-14.9	-16	-6.6	-7.3	2.2	-1.1	-9.4	-12.4

DI比較表 全業種

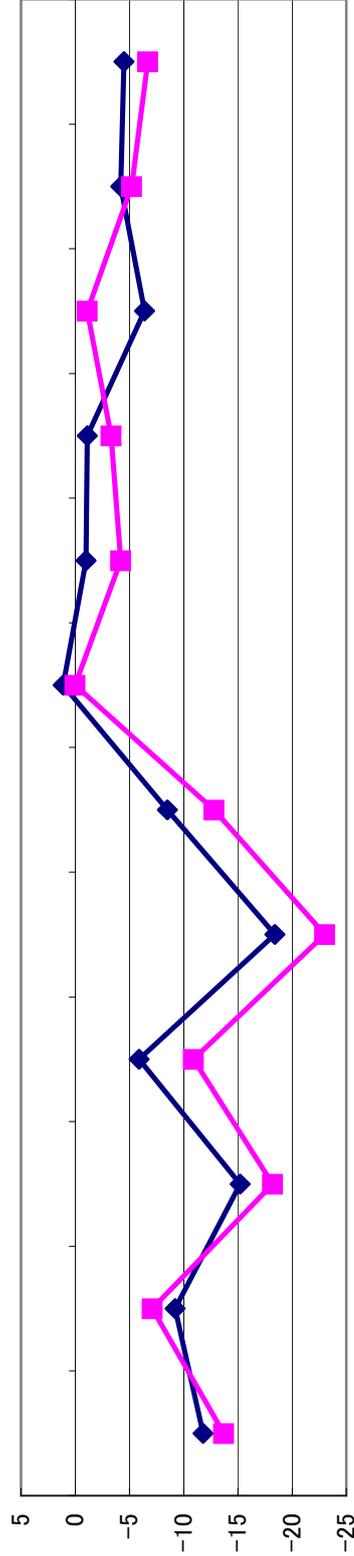
◆ 従業員(前期比) ■ 従業員(前年比)



項目	H27/1-3月	H27/4-6月	H27/7-9月	H27/10-12月	H28/1-3月	H28/4-6月	H28/7-9月	H28/10-12月	H29/1-3月	H29/4-6月	H29/7-9月	H29/10-12月
従業員(前期比)	-7.8	-2	-11.1	-5.9	-12.6	-7.4	-14.3	-10.4	-17.6	-7.4	-14.6	-12.4
従業員(前年比)	-9.8	-7.1	-10.1	-3.4	-10.3	-7.4	-12.1	-9.4	-17.6	-6.4	-15.6	-12.4

DI比較表 全業種

◆ 業況(前期比) ■ 業況(前年比)



項目	H27/1-3月	H27/4-6月	H27/7-9月	H27/10-12月	H28/1-3月	H28/4-6月	H28/7-9月	H28/10-12月	H29/1-3月	H29/4-6月	H29/7-9月	H29/10-12月
業況(前期比)	-11.8	-9.2	-15.2	-5.9	-18.4	-8.5	1.1	-1	-1.1	-6.4	-4.2	-4.5
業況(前年比)	-13.7	-7.1	-18.2	-10.9	-23	-12.8	0	-4.2	-3.3	-1.1	-5.2	-6.7